

## ISO14001 活動の効率的な管理について

鹿島建設(株) 東北支店 正会員 ○ 芝山 正登  
 鹿島建設(株) 東北支店 板屋 宏治  
 鹿島建設(株) 東北支店 千葉 かえで

## 1. はじめに

昨今 ISO シリーズは、国際的仕様を含んだ自主活動として日本国内ではかなり普及してきていて、その認証登録を持つ企業は、毎年増加の一途を辿っている。

当支店での ISO14001 の環境管理活動においては、支店単位で認証取得していた(現在は本社で統合)ことから、品質環境マネジメント室(以下品環室)で支店管内の土木及び建築工事約 200 件と約 800 人の従業員を統括管理する必要があったため、内部環境監査の活動計画、活動状況、結果の収集・分析、評価、さらにマネジメント・レビュー、外部審査などにおける日頃の管理資料の整理に関わる情報の環境管理業務を IT 化で推進したので、その実績を報告する。

## 2. IT 化による管理概要

内部環境監査の管理・・・年約 80 回の内部環境監査計画、監査状況及び結果の収集分析

内部環境監査員情報の管理・・・180 人を超える本人属性のほかに過去の監査実績とその詳細

環境関連情報の周知・・・ホームページ、電子メールの活用

品環室内サーバーの活用・・・上記日頃の活動状況に関するデータの収集をサーバー上で管理

⑤ 監査時の IT 活用・・・電子ファイルのチェックリストの活用

## 3. IT 化について

## ① 内部環境監査の管理、② 内部環境監査員情報の管理

180 人を超える内部環境監査員情報、年約 80 回の内部環境監査計画・実施情報、内部環境監査結果情報の収集・分析の一連情報の流れと変化について、最低限の必要事項の情報入力のみで、データを関連付けて自動的に集計ができる管理システムを構築した。

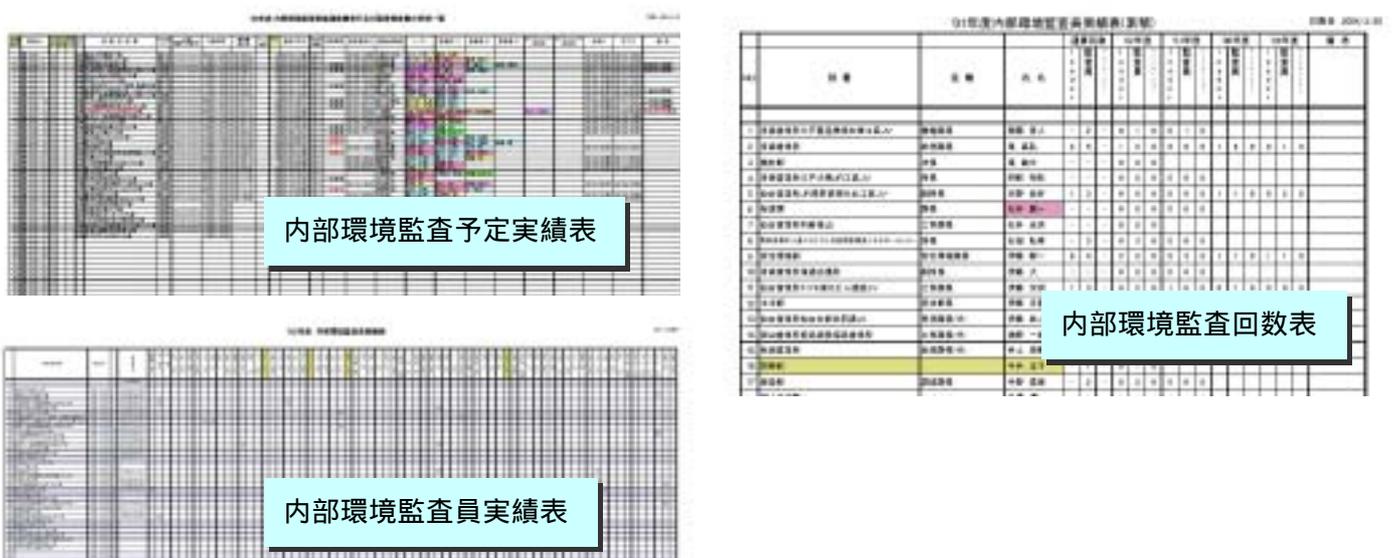


図-1 内部環境監査実施状況

キーワード：ISO14001、内部環境監査、サーバー、管理システム、IT 化

連絡先 〒980-8621 宮城県仙台市青葉区二日町 1-27 鹿島建設(株)東北支店 TEL022-261-7111(代表)

図－2 内部環境監査結果の集計

### ③ 環境関連情報の周知

環境方針をはじめとして、各部署各部門の目的・目標、年度環境マネジメント・プログラム、マニュアル、実施要領書などを電子化管理し、日頃の環境活動の中から管下社員に周知すべき情報として環境監査の予定、実績からマネジメント・レビュー、外部審査結果及び是正処置結果などについてホームページ上で掲載した。

### ④ 品環室内サーバーの活用

品環室内における日常業務は、担当分野別に各自の担当を基本としていたため、情報の引継ぎがスムーズに進行できるようサーバー上で管理データを共有化し、必要に応じてデータのリンクにより担当管理業務の進捗状況が管理できるようにした。

特に、外部審査やマネジメント・レビュー対応の準備及び資料作成においては、全ての業務をサーバー上で管理し必要に応じてシステム化したことで、共有サーバーは有効に機能した。

また、外部審査時の議事録作成においても白紙帳票をシステム化して、担当者毎による誤解釈、誤操作によって発生する修正などの業務を解消し、効率的な議事録作成ができた。

### ⑤ 監査時の IT 活用

内部監査の実施においては紙ベースで実施していたが、環境活動の IT 化の一環としてパソコンを使った監査を実施して、最終報告書を印刷して報告する方法を採用したものの印鑑に関する問題は最後まで残された。

しかし、利用者は増えていった。

## 4. おわりに

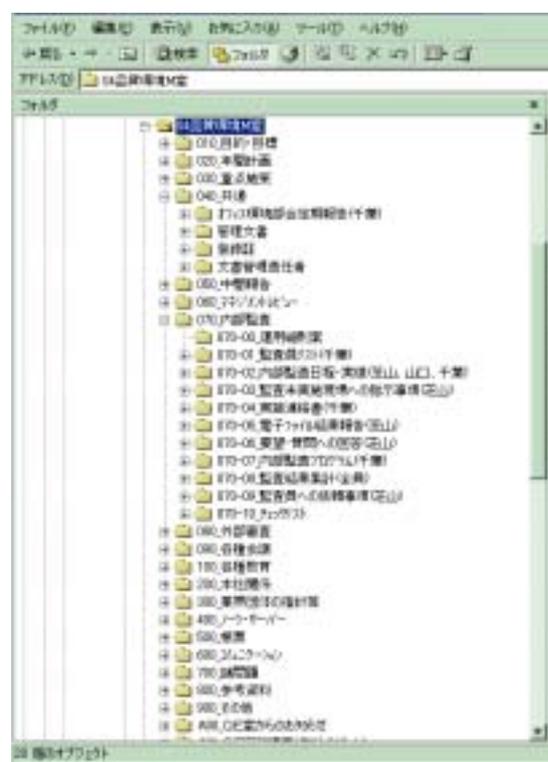
約 800 人の従業員の内、180 人を超える内部環境監査員の管理、年間約 80 回の内部環境監査の実施を通して施工部門、設計部門、オフィス部門について環境活動を推進した結果、膨大な管理量がある他、人を動かす性質上、監査メンバーの変更、監査日の変更は随時あり、IT 化なくしての管理は難しい状況であった。

外部審査、マネジメント・レビューにおいても、IT 化は有効に機能し、少ないメンバーで効率的な環境管理活動を行うことができた。

品環室で行った監理業務は、環境管理、情報管理、人的資源管理(環境教育)などであった。



図－3 品環室ホームページのトップ・ページ



図－5 サーバー上の共有フォルダー